

令和7年度第3回学校関係者評価委員会議事録

日 時：令和8年3月25日（水）13：00～14：30

場 所：千葉経済大学 大会議室

出席者：

1	佐久間 勝彦	理事長・大学学長・短期大学部学長・高校校長
2	佐久間 美羊	副理事長・教授
3	吉田 悦教	常任理事・特任教授
4	山浦 裕幸	大学副学長・教授・理事
5	影山 美佐子	ビジネスライフ学科長・教授・理事
6	平林 隆	法人事務局長・大学・短期大学部事務局長・理事
7	栗沢 尚志	大学教授・評議員
8	横田 秀人	高校教頭・評議
9	藤生 裕	大学学部長・学科長・教授
10	横山 洋子	こども学科長・教授・評議員
11	原田 浩二	高校副校長・評議員
12	秋元 浩	千葉経済大学附属高等学校同窓会会長・評議員
13	亀田 洋子	千葉経済大学短期大学部同窓会会長・評議員
14	幅 淳徳	千葉経済大学父母の会会長・評議員
15	河道 健太	千葉経済大学附属高等学校父母の会会長・評議員
16	三代川 賢章	千葉経済大学短期大学部後援会会長
17	佐久間 道子	評議員
18	積田 悟	前高校副校長・評議員
19	村松 重彦	(学)聖メリー学園理事長、(社)社会福祉法人小ばと会理事長・評議員
20	青柳 俊一	(株)千葉興業銀行会長・学園監事
21	植松 省自	税理士法人京葉会計事務所代表社員・学園監事

1. 開会のあいさつ

2. 理事長あいさつ

議題

【1】令和7年度補正予算について

議長の指名により、浅井 優規 会計課課長代理から、別添1「令和7年度事業活動収支補正予算書・資金収支補正予算書」に基づき、7年度当初予算に対する7年度補正予算の補正額及び補正理由の説明があった。

【2】令和8年度事業計画について

議長の指名により、平林 隆 法人事務局長から、別添2「令和8年度事業計画(案)」に基づき、令和7年度と異なる点を中心に学園全体及び各学校の令和8年度事業計画が説明された。

[千葉経済大学附属高等学校]

● 「令和の日本型学校教育」の実現に向けた教育

新学習指導要領の提唱する「主体的・対話的で深い学び」の実現に努め、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な実現に努める。

● タブレットを活用した授業実践

全学年へ導入されているタブレットの授業等での積極的な活用を通じて主体的な学びを促進する。主に使用するアプリケーションである Teams や Classi の研修を継続する。

● 教育内容の充実・教育環境の整備

- ① 教員に貸与しているノートパソコン(143台)の更新を行う。
- ② パソコン実習室5について、BYAD(Bring Your Assigned Device: 学校で指定した端末を生徒が購入して授業利用)をドッキングステーション(USB、HDMI、LANポート等を備えた機器)に接続して利用する形態に更新する。

● 観点別評価を活かした向学心の促進と「キャリアパスポート」による指導の充実

3観点(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)の評価を活かして学習支援に努め、「キャリアパスポート」に学内外での主体的な活動を記載させて自らの成長を確認させる。

- 普通科の教育充実

特進コースでは、NOLTY スコラ、特進講座、スタディーサプリ等の ICT 有効活用をさらに駆使して、難関大学への進学実績を高めていく。

文理一般コースでは、教科横断的な学習「総合的な探究の時間」の充実を図り、これからの時代を生き抜くために必要な《自己表現力》と《行動力の向上》を目指す。

- 専門科の教育充実

商業科では、3年間のカリキュラム総括である「課題研究」では《考え抜く力》《チームで働く力》《前に踏み出す力》を養い、多様な問題に対応できる課題解決能力の育成を図る。

情報処理科では、同じく3年間のカリキュラム総括である「課題研究」で《発想力》《表現力》《分析力》の向上を目指す。

- 部活動の意義を踏まえた振興充実

- 教員研修の充実

- 定員確保のための生徒募集活動

- いじめ及び体罰の防止による健全な教育活動の展開

いじめ及び体罰の防止に平素より務めて、健全な教育活動の展開に努める。

- 施設設備の改修

旧短大2号館B棟1階の家庭科室とトイレの改修工事を行う。

- 校舎の名称変更

① 5号館1階(旧短大学生食堂)をダンス部練習場兼部室として利用できるよう改修工事を行う。

② 中野グラウンド受水槽に散水用受水槽(容量2m³程度)を増設する。

- 設備更新検討調査

2号館高圧ケーブルの更新を検討するためケーブルの点検と原因確認を実施し、詳細な情報を得たうえで、事前調査を実施する。

【3】令和8年度予算について

議長の指名により、浅井 優規 会計課課長代理から、別添3「令和8年度事業活動収支予算書・資金収支予算書」に基づき、7年度補正予算に対する8年度予算の増減額及び増減理由の説明が行われた。

【4】その他（報告事項等）

近況報告

原田 浩二 高等学校副校長より近況報告があった。

3月1日に卒業式を迎え599名の卒業生を送り出しました。進路状況は大学進学率が90%を超えており、主な進学先は亜細亜大学をはじめとして立命館大学に合格している者もいます。また、公務員、海上保安庁あるいは県警などに就職を決めている者もいます。本学園設置の大学・短大・高校の三者連結において、本校から千葉経済大学には30名、千葉経済大学短期大学部には46名と去年よりも入学者が多くなっております。

また、ICTの推進によるタブレットを全学年に配ることができ、それを活用した研究・研修も積極的に行っています。銚子電鉄とのコラボ商品を学校やモノレールの駅で販売活動を行いました。高度資格の表彰が2月に行われ、今年度は実用英語検定の準一級をはじめとして日商簿記検定、情報処理技術者試験を取得した53名の生徒が表彰を受けました。部活動では、ソフトボール部が準優勝を果たし、柔道部が日本武道館で行われる全国大会に出場するところです。

・意見

体調不良で入院した時、担当の看護師が千葉経済大学附属高等学校の卒業生だった。その病院には他の部署にも高等学校の卒業生がいると聞き、地域を支える人材としてしっかり根付いて頑張っている姿をみて感動した。教員のみなさんにはぜひこういう頑張っている卒業生がいることを生徒に伝えてほしいという意見があった。